

平成27年度事業報告

自 平成27年4月 1日
至 平成28年3月31日

I 事業内容

適正な狩猟を永続させるため、狩猟知識の普及、狩猟道徳の向上により狩猟事故の撲滅を図るとともに、鳥獣資源の保護増殖、及び有害鳥獣捕獲を実施することで地域社会の環境保全に寄与し、貢献するため次の事業を実施した。

1 公益実施事業

◎継続1 狩猟事故防止指導事業（2,851,376円）

- ① 27年10月21日、狩猟事故撲滅に向け、狩猟グループの代表者を対象とした「狩猟事故防止研修会」を87名の参加を得て開催した。なお、この事業は、県の委託を得て実施している。
- ② 狩猟期間中の事故・違反防止のため、狩猟事故防止指導員55名及び大日本猟友会から委嘱されている安全狩猟指導員47名により、入猟者の指導をおこなった。
- ③ 27年10月13日、狩猟事故防止対策協議会を開催し、県及び県警本部担当職員による講義の後、狩猟事故の発生状況報告を受けて、狩猟事故防止・違反の防止及び狩猟安全パトロールについて協議をおこなった。
- ④ 各支部毎に狩猟安全パトロールを行うとともに、パンフレットの作成・配布などで狩猟事故防止・マナー向上を呼びかけた。
- ⑤ 地区猟友会長に対し、狩猟事故防止に対する様々な項目について会員に徹底するよう通知した。
- ⑥ 県の委託を受けて、鳥獣保護区、休猟区等で制札及びビニール標識等の設置・撤去事業をおこなった。

◎継続2 鳥獣保護増殖事業（4,270,923円）

- ① キジ及びヤマドリを、県日本キジ・ヤマドリ養殖組合から購入し、ヤマドリは猟期前の10、11月に、キジは猟期後、可猟地に放鳥した。

● 支部別放鳥実績

	渋川	沼田	吾妻	藤岡	富岡	高崎	東部	計
ヤマドリ 120日令	7	8	5	0	0	0	0	20
キジ 成鳥	56	57	37	27	25	59	89	350
計	63	65	42	27	25	59	89	370

- ② 県が県日本キジ・ヤマドリ養殖組合から購入したキジ・ヤマドリ1,490羽について、県の委託を受けその放鳥をおこなった。
- ③ キジ・ヤマドリの放鳥効果を高めるため、増殖に有害なキツネ及びテン等を猟期に捕獲するよう奨励した。
- ④ キジ・ヤマドリには県放鳥分を含め足環を付しており、この足環を回収した狩猟者

に対して記念品を贈り、生息状況等の調査実績を高めた。

- ⑤ 27年5月15日、富岡市野上地内に所在する民地を借用し、鳥類食餌木として、コナラ300本の「実のなる木」植林事業を実施した。
なお、現地には『野鳥の森』の立看板を設置している。

◎継続3 初心者予備講習事業（921,999円）

狩猟者試験受験者の資質向上を図るため、県の委託を受けて予備講習会を実施した。

- 講習内容：法令、鳥獣の判別、銃器及び猟具の取り扱いについて
- 開催日時及び受講者数
 - ・第1回 27年7月7日（県クレ射撃場） 39名受講
 - ・第2回 27年9月8日（ ” ” ） 27名受講

◎継続4 災害対策事業（アマチュア無線開設者による緊急対策協力事業）
（45,256円）

今年度においては、無線緊急対策協議会等の開催はしなかった。

◎継続5 クレー射撃場運営事業（35,697,497円）

- ① 県クレ射撃場は、県より指定管理者として指定を受け、射撃事故防止を図るための実技研修の会場として、銃器の正しい取り扱い技術の習得及び射撃技術の向上を目的に、銃所持許可更新時の技術講習及び地区猟友会会員の実技研修、及び猟銃等を所持しようとする初心者講習などを中心に運営を行っている。

なお、射撃場の立地状況をふまえ、地域住民の意見・要望に配慮して施設への理解が得られるよう努めている。

- ② 県議会の提言を受けて進められているライフル射撃場の建設計画について、早期に実現できるよう28年3月25日に整備検討会議を設置し、県との意見交換を図って行くことになった。

● 射撃場利用状況

利用者数	内県外利用者数 (%)	クレー利用枚数	ラビット利用枚数	合計
6,393名	1,376名 (21.5%)	562,337枚	3,735枚	566,072枚

※ 利用者については、前年度比1.3%の微増。

● 射撃教習実施状況

- ・初心者講習 8回 24名参加
- ・技能講習 32回 94名参加

2 その他事業

◎1 狩猟登録申請等及び証紙売り捌き事業（6,404,756円）

- 1 狩猟免許更講習及び更新取りまとめ事業

27年度の狩猟免許更新予定地区猟友会会員（1,666名）に対して通知するとともに、免許更新申請書の取りまとめと免許更新講習会（25会場）を県の委託を受けて実施した。

- 2 県証紙売り捌き事業

県条例による「県証紙売り捌き所」の指定を受け、狩猟免許及び狩猟者登録等に必要の県証紙の売り捌きをおこなった。

○3 狩猟者登録申請取りまとめ事業

会員の県外登録事務及び県外からの登録申請の取りまとめを県の委託を受けておこなった。

- 県外狩猟者 899名（前年度比96.9%）
- 県内居住者 2,349名（前年度比102.1%）

◎2 指定管理鳥獣捕獲等事業（10,928,937円）

○1 認定鳥獣捕獲等事業者としての認定

環境省は、27年5月26日に施行された改正「鳥獣保護管理法」に基づき、27年度から新たにイノシシ・ニホンジカの捕獲体制を強化するための交付金事業として、「指定管理鳥獣捕獲等事業」を創設した。

この事業を県等から受託しておこなうためには、県知事から「認定鳥獣捕獲等事業者」としての認定を受けることが必須な要件とされている。

本会では、この事業に従事を予定している地区猟友会員を対象とした講習会等を実施し、2月15日付けで県知事あて認定申請をおこない、3月18日付けで認定鳥獣捕獲等事業者として認定書の交付を受けた。

○2 事業実施地区

県から、これまでの本会のニホンジカの捕獲実績等に基づき、下仁田町神津牧場地区、前橋市赤城南麓地区の2カ所について委託を受け、27年11月から事業を実施した。

◎3 その他事業（5,173,373円）

○1 会報発行事業

本会事業への理解を深めるとともに、狩猟及び環境保全に関する知識を高め狩猟道徳の向上を図るため、会報を発行し、会員、県・市町村、県警本部・各警察署等に配布をおこなった。

- 猟友ぐんま第58号（平成27年10月、2,200部発行）
- 猟友だより第34号（平成28年3月、2,100部発行）

○2 大型囲いわな捕獲実証試験事業

県が鳥獣被害特措法に基づく農水省交付金事業を活用し設置した、大型囲いわな2カ所（前橋市柏倉町・赤芝牧場地区、沼田市利根町・ミリオン牧場地区）における捕獲個体について、その「止めさし等の業務」を受託し実施した。

この事業に従事する地区猟友会員については、指定管理鳥獣捕獲等事業における認定鳥獣捕獲等事業者と同様と位置づけて対処した。

○3 射撃部事業

会員相互の親睦とともに、銃器の取り扱いの習熟を図ることによって狩猟事故・違反を防止し地域社会への貢献につなげるため、「安全狩猟のための射撃大会」を次のとおり開催した。

ア 安全狩猟フィールド射撃大会

27年5月17日、県クレイ射撃場で開催した。

- ・ 優勝：新井和夫氏 準優勝：小林順氏 第3位：高橋芳男氏

(23名参加)

イ 安全狩猟地区対抗射撃大会

27年6月14日、県クレ射撃場で開催した。

● トラップ部門

優勝：富岡猟友会 (64名参加)

● スキート部門

優勝：利根沼田猟友会 (47名参加)

ウ 安全狩猟ライフル・スラッグ射撃大会

27年7月19日、長瀬総合射撃場で開催した。

● ライフル部門

優勝：相沢 齊氏 準優勝：萩原雄二氏 第3位：大矢 力氏
(20名参加)

● スラッグ部門

優勝：中曽根三晴氏 準優勝：鈴木 猛氏 第3位：木内達雄氏
(12名参加)

エ 安全狩猟クレ射撃選手権大会

27年8月30日、県クレ射撃場で開催した。

● トラップ部門

優勝：坂本 守氏 準優勝：周藤行雄氏 第3位：里 秀雄氏
(35名参加)

● スキート部門

優勝：中村 悟氏 準優勝：坂本 真氏 第3位：今泉道男氏
(26名参加)

なお、優勝者の氏名は、選手権者として県クレ射撃場に掲示した。

オ 一都八県ライフル・スラッグ射撃大会

27年9月5日、本会が当番となり埼玉県長瀬射撃場で開催した。

本会の成績はスラッグの部門で鈴木猛氏が個人の部準優勝、団体4位となり、ライフル部門で団体の部準優勝、総合順位も準優勝と大健闘であった。

カ 第10回安全狩猟関東山静ブロック大会

27年9月19日、茨城県猟友会を当番に、茨城県狩猟者研修センター射撃場で開催された。本会の出場チームは、Aチーム(津村龍太郎氏、新井和夫氏、川田光義氏)、Bチーム(橋本悟志氏、高橋芳男氏、斉藤新吉氏)の2チームで共に健闘した。

○4 猟犬部事業

28年3月20日、藤岡市及び高崎市新町地先の神流川河川敷において、狩猟事故防止の一環として、猟犬の普及改良及び会員相互の親睦を図るため競技会を開催した。

● 成犬の部 優勝：山田 功氏 (鬼石猟友会) (9頭参加)

● 若犬の部 優勝：山田 功氏 (鬼石猟友会) (9頭参加)

○5 教育宣伝事業

大日本猟友会報を全会員に配布した。

○6 表彰関係事業

ア 27年5月19日開催した通常総会において、永年地区猟友会において会の運営及び会員の指導に尽力している次の各氏及びの功績を称え表彰した。

- 渋川猟友会：草野芳之氏 利根沼田猟友会：能登龍夫氏
吾妻猟友会：田村雅敏氏 鬼石猟友会：新井昭一氏
富岡猟友会：高橋 孝氏 高崎猟友会：中島行雄氏
大間々猟友会：鈴木 博氏 東町猟友会：坂本正幸氏
佐波伊勢崎猟友会：小林紀男氏

イ 通常総会において、永年地区猟友会において会の運営に尽力し、役員を退任された次の各氏に感謝状を贈呈した。

- 吾妻猟友会：(故)加藤 力氏 前橋東部猟友会：山田孝夫氏
南牧村猟友会：池田泰夫氏 館林猟友会：松本倅次郎氏

○7 狩猟災害共済保険及びハンター保険事業

会員の狩猟における安全を担保するため、災害共済保険及びハンター保険に取り組んだ。

- 加入者数

免許の種類	狩猟災害共済保険			ハンター保険		
	加入数	掛 金	合計金額	加入数	掛 金	合計金額
網猟・わな猟	309名	1,500円	463,500円	276名	※1,640円	452,580円
第1種銃猟	1,541名	3,000円	4,623,000円	1,014名	4,000円	4,056,000円
第2種銃猟	44名	1,500円	66,000円			
網わな1種・2種	—	—	—	465名	※4,290円	1,994,850円
計	1,932名	—	5,152,500円	1,754名	—	6,503,430円

※は加入期間により変動する。

- 27年度保険給付状況

狩猟災害共済保険		ハンター保険	
給付件数	給付金額	給付件数	給付金額
3件	1,145,530円	12件	785,648円

○8 狩猟免状等所持証明発行事業

狩猟登録申請書に添付する狩猟免状及び被保険者証の所持証明503件発行いたが、手数料（1件あたり200円）は該当する支部の運営費として交付した。

支部名					合 計
	件数	金 額	件数	金 額	金 額
渋 川	17	3,400円	17	3,400円	6,800円
沼 田	1	200円	139	27,800円	28,000円
吾 妻	29	5,800円	139	27,800円	33,600円
藤 岡	3	600円	3	600円	1,200円
富 岡	—	—	—	—	—
高 崎	18	3,600円	18	3,600円	7,200円
東 部	62	12,400円	57	11,400円	23,800円
計	130	26,000円	373	74,600円	100,600円

○9 わな猟初心者講習会事業

わな猟免許取得者に対する安全かつ効果的なわなによる捕獲技術講習会を県の

委託を受けて、開催した。

● 講習内容：野生動物の生態、箱わな、くくりわなの掛け方の実習

● 開催日時及び受講者数

・第1回 27年10月 7日（県畜産試験場） 38名受講

・第2回 28年 2月28日（観音山ファミリーパーク）39名受講

（合計77名受講）

○10 野生鳥獣肉の放射能検査における検体提供事業

県からの要請を受けて、前年度に引き続き野生鳥獣の放射性物質を測定するため各地区猟友会による野生動物肉（ニホンジカ、イノシシ、ツキノワグマ）の提供をおこなった。